

# キャリア教育で子どもたちの未来づくり

## 《中学校 1 年生の職業講話》

豊後大野市の中学校では、3年間を通して自分の将来を見つめる進路学習(キャリア教育)を行っています。1年生では、様々な職業が社会を支えていることや、自分たちも将来はその一端を担うことを学習します。とりわけ、仕事に携わる方々から実際にお話を伺う「職業講話」の学習を通して、「働く」ことの苦労や喜びを知り、今の自分を振り返るとともに自分の将来を考える機会にしています。

「職業講話」は、生徒の希望にそって、「はぐくみ先生」を中心にお願ひしています。みなさん、快く引き受けてくださり、仕事についたきっかけ、仕事内容やその中での苦労や喜び、仕事に就くために必要なこと、中学生へのメッセージ(今頑張っておいた方が良くいこと)などをていねいに語ってくれました。

各中学校での様子を生徒の感想を通してお知らせします。

### 「職業講話」 三重中学校1年生

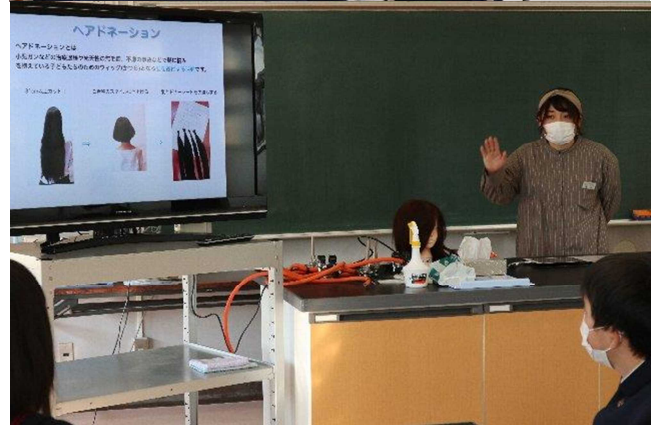
2月1日(月)

【講師】 臼田成美さん (キッチンウスタ「パティシエ」)



- ・私は、臼田さんに私たちの地元を「宝だ！」とおっしゃっていただいて、自分の地元を誇りに思うことができました。豊後大野市は、自然がたくさんありますが、私は都会にあこがれてばかりで、あまり地元のことについて関心を持ったことがありませんでした。臼田さんのおかげで、地元の良さに気づくことができました。
- ・私が一番心に残った言葉は、「好きだからやっていける。」という言葉です。私も「給料が良いから仕事に就く」「家族全員がしているからやる」じゃなくて自分の好きな場所で好きなことを一生懸命やっていくことが人生だと思っているので、いつか自分でその思いや夢を叶えていきたいです。
- ・お店を始める前は、お店とはあまり関係がない仕事についていたということに驚きました。様々な仕事を一つ一つ一生懸命にやってこられたんだと感じました。「(お店の)仕事を辞めなくなった時はないですか？」という質問に対して、「ない」というふうにおっしゃっていたので、やりがいを持ってやっているのが本当に素敵だと思いました。
- ・私は、東京の雰囲気とかに憧れていて、将来東京に行きたいなと思っています。でも、臼田さんの話を聞いて、いなかに暮らして都会に遊びに行くぐらいがちょうど良いなと思いました。
- ・私は、臼田さんの話を聞いて、やっぱり自分の好きなことをやるのが一番だと思いました。そしてやりたいと思ったことは、周りの人に言ったりすると良いということも分かりました。また、「ゴムひもの法則」がすごく心に残りました。ゴムにフックをかけて夢に向かって投げることで道が開けること、でもその道は1つではなく遠回りになっても良いんだということが分かりました。

- 【講師】 宮坂 雅一さん (裁判所書記官)  
 高野 幸雄さん (一級建築士)  
 玉田 直也さん (OPAヤオヤダエン・新生クリーンサービス 社長)  
 亀井 裕子さん (ヘアプランナー 美, D o スタイリスト)



- 人と人の争いを解決し、人々の権利を守っている裁判で「書記官」という重要な役職で活躍している宮坂さんはすごいと思いました。裁判についてよく知らない僕たちに楽しく説明してくれたので、感謝したいです。僕も冷静に人の争いを解決できるようになりたいです。また、裁判所で働く人は、宮坂さんのおもしろいことを言う人が多いと聞いて驚きました。仕事の時とそれ以外でメリハリがあるというのは大事なことだと思います。僕もメリハリをもって生活していきたいです。
- 僕は、建築士は家などの作図だけだと思っていたけど、大工さんと協力して一緒に一つの家を作りあげると聞き、とても良いことだなあと思いました。消防署を設計したこともびっくりしたけど、消防士の大変なことを考えて設計されているのがすごいなあと思いました。僕は高野さんの「全てポジティブにとらえてプラス思考に変える。」という言葉が心に残りました。僕も辛いことがあった時全てポジティブにとらえてプラス思考に変えていけたら良いなと思いました。そして、自分の夢に向かって一生懸命がんばりたいです。
- 私が玉田さんの話を聞いて驚いたのは、早い時は朝2:00に起きることです。そんなに早く起きて野菜を買ってきて、それが売れなかったら本当に残念だろうなと思いました。ちょっとだけ「運」もあるなと思いました。印象に残っているのは、「自分のやりたいことよりやれる仕事につく」という言葉です。まだ、今の私では、自分が何に向いているのかということが分からないけど、自分がやれることも考えて将来のことを考えていきたいです。
- 私が心に残ったことは、福祉美容師のことです。お年よりなどの介護やお世話は、私の将来の夢に似ていると思いました。また、美容師という仕事は、たくさんの人を幸せにできるすごい仕事だと思いました。亀井さんは、美容師は数が少なく、失敗もあり、クレームが来ることがある仕事だと言っていました。でも、クレームになる前に無料補償すると言っていました。私は、美容師は行動力があって先を見通さなければならない仕事だなと思いました。また、はやりのヘアスタイルはTVやSNSなどで知り、はさみ等道具の種類もたくさんあり、練習するのにもお金がかかると聞き、大変な仕事だということも知りました。私も、亀井さんのように優しい人になりたいなと思いました。



【講師】 利光 宏司さん (弁護士)

衛藤 誠さん (獣医師)



- ・私が弁護士についての話を聞いて驚いたことは、弁護士になるまでがとても大変だということです。どんな職業でも就職するのは大変だということは知っていましたが、弁護士は、何度も何度も試験を受けていると言っていたのが印象に残っています。また、弁護士は、全部で4～5万人いて、その多くは東京で仕事をしていること、大分県内には160～170人程いることがわかりました。私は、「努力すること」を大切にしようと思いました。
- ・私は、弁護士の仕事は刑事だけだと思っていたので、違う仕事があったことに驚きました。弁護士になるには、たくさん大変なことがあるということもわかりました。これまで私の勝手なイメージで弁護士は怖いと思っていたのですが、すごく優しそうなお話も聞きやすかったです。弁護士のことを少しでも知れたので、これからドラマ等に弁護士が出てきたら注目して見たいと思いました。
- ・講話を聞く前の弁護士の印象は、「事件系」の依頼をたくさん受けていると思っていたけど、話を聞いて民事の方が多いと聞き、驚きました。また、弁護士になるためには、たくさん努力しなければならないこともわかりました。僕が一番思ったことは、弁護士はとても素敵な仕事だということです。きつかったり、忙しかったりしても解決した時の喜びは、計り知れないと思いました。
- ・衛藤さんがまず言っていたことは、あいさつのことについてでした。あいさつは社会の常識と言っていたので、これからも元気よくあいさつしていこうと思いました。次に、獣医師になるには、まず獣医学科がある大学に入学して6年間勉強して国家試験に合格すると獣医師免許が取れると言っていたので、大変だと思いました。最後に衛藤さんが「出来る出来ないではなく、やるかやらないか」と言っていました。僕は、これから勉強をがんばろうという気持ちになりました。
- ・私は、獣医師さんのお仕事は、犬や猫などの小動物の診察だと思っていました。でも、今日のお話を聞いて小動物だけではなく、野生動物や農林水産などのお世話をしているということがわかりました。農林水産分野では、牛や豚・鶏などのお世話をしているということがわかりました。獣医師さんはすごくいろいろなところで活躍されていることや、獣医師さんが私たちの身近なことに深く関わっているということが分かり、すごく勉強になりました。また、動物の気持ちを読み取るというのは難しいだろうなと思いました。
- ・獣医師になるには、たくさんの試験をに合格しなければいけないことを知りました。しかし、それだけでなく、獣医師になるには、生き物が好きであることや守りたいという気持ちじゃないといけないと思いました。どの仕事もその仕事に適した気持ちがないといけないと思いました。また、獣医師には知らなかった仕事があり、当たり前なあいさつやコミュニケーション能力など基本的なことも大切なことだとわかりました。

【講師】 秋庭さとみさん (介護士)

稲垣 望さん (獣医師)

市川 敦子さん  
(青年海外協力隊経験者)

橋田 文さん (航空会社勤務)  
※リモートでお話を聞きました。



- ・私は市川さんから青年海外協力隊のことを聞くまで、青年海外協力隊のことを知りませんでした。だから、この職業講話は自分のためになったし、とても面白い話が聞けました。私が心に残ったことは、小さなことやきっかけを見落とさないこと、幼い頃の夢をずっともっているということです。市川さんは友達に誘われて青年海外協力隊の試験をうけたということと、小学校六年生の時の将来の夢を頭の片方に入れておいたそうです。だから私も、小さなきっかけを見落とさないこと、そして将来の夢をあきらめない人になりたいです。
- ・私は、楽しい人生にするために働くと思っていましたが、話をしてくださった講師の方は、自分のために働くとは考えていなくて、自分が働くのは、自分が働いていないと困る人が出てくるからだと話してくださいました。私は、自分を中心に考えていましたが、その考えを聞いて、びっくりしました。人生は死ぬまで娯楽にすぎない。その娯楽をどう楽しむかで楽しいか楽しくないかがきまるのだということを私は感じました。
- ・獣医師の稲垣さんの話では、動物の治療の難しさや、獣医師になるための進路などを教えてもらいました。自分が特に難しいと思ったのは、人間とちがって、他の動物はしゃべることができないので、一つの合図も見逃せないということでした。もし合図を見逃して、命を落としたら責任重大なので、とても難しい仕事だと思いました。稲垣さんの「人間と動物が共生していく未来を作りたい」という言葉で自分も少しでも他の動物に寄り添うことで、また新しい未来を創ることができるだろうと思いました。